

大田桜台 高等学校 令和5年度（1 学年用） 教科 国語 科目 現代の国語

教科： 国語 科目： 現代の国語 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1 組：青柳息吹） （2 組：青柳息吹） （3 組：青柳息吹） （4 組：柳原嘉文） （5 組：柳原嘉文）

使用教科書： （東京書籍 新編現代の国語）

教科 国語 の目標： 言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語での確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

【知識及び技能】 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代の国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・聞	書	読					
水の東西 山崎正和 【知識及び技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 比較を通じて粘り強く「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとする。	・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める。 ・評論の書かれ方を理解し、読み方を知る。 ・漢字・意味調べプリント・漢字小テスト ・一人1台端末の活用 等		○	○	【知識・技能】 ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして自分の興味や関心を他者に伝えようとしている。				7
こそめスープ 村田紗耶香 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合おうとする。	・筆者独自の考え方を読み取り、人それぞれが持つ意識の世界に思いをはせる。 ・一人1台端末の活用 等		○	○	【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。				6
定期考査						○	○		1
1 学期 スキマが育む都市の緑と生命のつながり 塚谷祐一 【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 【学びに向かう力、人間性等】 粘り強く都市部の緑の在り方を述べた筆者の主張を理解し、学習課題に沿って生態系という新しい視点と資料との関連性を捉えながら自分の考えを深めようとする。	・「都市部のスキマ」と「都市部の公園」の違いを、生態系に果たす役割という視点を押さえながら読み取り、整理する。 ・漢字・意味調べプリント・漢字小テスト ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 【主体的に学習に取り組む態度】 粘り強く都市部の緑の在り方を述べた筆者の主張を理解し、学習課題に沿って生態系という新しい視点と資料との関連性を捉えながら自分の考えを深めようとしている。				7

	<p>鍋洗いの日々</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで筆者の体験談から筆者の仕事に対する思いを理解し、今までの学習を生かして職業について見聞きしたことを発表しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る。 ・漢字・意味調べプリント・漢字小テスト ・一人1台端末の活用 等 	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進んで筆者の体験談から筆者の仕事に対する思いを理解し、今までの学習を生かして職業について見聞きしたことを発表しようとしている。 	○	○	○	6	
	定期考査					○	○			1
2 学 期	<p>気になるニュースについて話そう</p> <p>【知識及び技能】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使うこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】積極的に情報の収集や整理を行い、学習課題に沿って理解しやすい内容構成や展開を工夫して、自分の考えを発表し、論ずる活動をしようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・情報を整理し、内容や構成に注意して話す。 ・意見を交換し、事実と自分の意見を区別してまとめる。 	○	○	○	<p>【知識及び技能】話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「話すこと・聞くこと」において、目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】積極的に情報の収集や整理を行い、学習課題に沿って理解しやすい内容構成や展開を工夫して、自分の考えを発表し、論ずる活動をしようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>真夏のひしこ漁</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に漁をする父や弟の様子を通して自然や漁師について感じた筆者の思いを理解し、今までの学習を生かして読書を通して働く苦労や喜び、仕事のやりがいについて学ぼうとすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・海での漁の様子を伝える文章を読み、自然の中での労働について理解を深める。 ・読書を通して将来の職業や働き方を考える。 ・漢字・意味調べプリント・漢字小テスト ・一人1台端末の活用 等 	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・積極的に漁をする父や弟の様子を通して自然や漁師について感じた筆者の思いを理解し、今までの学習を生かして読書を通して働く苦労や喜び、仕事のやりがいについて学ぼうとしている。 	○	○	○	7
	定期考査						○	○		
	<p>りんごのほっぺ 渡辺 美佐子</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く過去から現在の出来事に至る内容と、作品中の筆者の思いを理解し、学習課題に沿って戦争体験を語り継ぐ意義を考え、話し合おうとすること。 	<ul style="list-style-type: none"> ・出来事の順序に着目しながら、戦時下の人々の状況と、作品に一貫する筆者の思いを読み取る。 ・漢字・意味調べプリント・漢字小テスト ・一人1台端末の活用 等 	○	○		<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・粘り強く過去から現在の出来事に至る内容と、作品中の筆者の思いを理解し、学習課題に沿って戦争体験を語り継ぐ意義を考え、話し合おうとしている。 	○	○	○	7

	<p>新聞記事を読んで意見文を書くこと</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使うこと。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に新聞記事を読んで問題の本質を捉え、学習の見通しをもって根拠と自分の考えのつながりを明確にし、意見文を書く活動をしようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記事の読み取りを踏まえ、根拠を明確にして意見をまとめる。 ・ 一人1台端末の活用 等 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に新聞記事を読んで問題の本質を捉え、学習の見通しをもって根拠と自分の考えのつながりを明確にし、意見文を書く活動をしようとしている。 	○	○	○	6
	定期考査						○	○		1
3 学 期	<p>不思議な拍手 細間宏通</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に場面の様子を捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 人間の心・意識について体験を踏まえつつ考察する文章を読み、人間への認識を深める。 ・ 漢字・意味調べプリント・漢字小テスト ・ 一人1台端末の活用 等 	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に場面の様子を捉え、学習課題に沿って考えの進め方を整理し、本文中に挙げられている実験から、筆者が推測していることを理解しようとしている。 	○	○	○	4
	<p>真の自立とは</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 文、話、文章の効果的な組み立て方や接続の仕方について理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめようとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えを持ち、視野を広げる。 ・ 漢字・意味調べプリント・漢字小テスト ・ 一人1台端末の活用 等 	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめようとしている。 	○	○	○	5
	<p>憧れの職業について調べ、整理してまとめよう</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使うこと。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 粘り強く自分の興味・関心のある対象について調べ、集めた情報の妥当性を検討しながら、学習の見通しをもって読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書くこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調べたことを整理して、考えたことを分かりやすくまとめる。 ・ 一人1台端末の活用も利用して調べ学習をする。 	○	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 粘り強く自分の興味・関心のある対象について調べ、集めた情報の妥当性を検討しながら、学習の見通しをもって読み手の理解が得られるよう文章の構成や展開を工夫して書くこととしている。 	○	○	○	4
	定期考査						○	○		1
合計										
70										

大田桜台 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 国語 科目 言語文化

教科：国語 科目：言語文化 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：（1組：柳原嘉文）（2組：柳原嘉文）（3組：柳原嘉文）（4組：青柳息吹）（5組：青柳息吹）

使用教科書：（東京書籍 新編言語文化）

教科 国語 の目標：言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して国語的・効果的に理解し・効果的に表現する資質・能力を育成することを目指す。

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。

【思考力、判断力、表現力等】「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において社会生活における他者との関わり伝え合う力を高め自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。

【学びに向かう力、人間性等】言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを考えを深めたりしながら言葉の持つ価値への認識を磨きつつ効果的に使おうとしている。

科目 言語文化 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けると共に、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話・	書	読					
「さくらさくらさくら」 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとする。	・引用歌や体験談に注意しながら日本独特の桜に対する感性への理解を深める。 ・現代の言語文化に息づいている古典の常識について興味を持つ。 ・ワークシート	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 ・常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使っている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとしている。	○	○	○	5
「児のそら寝」宇治拾遺物語 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで日本独特の桜に対する感性について理解を深め、学習課題に沿って本文や引用歌の考察を踏まえながら筆者の桜への思いを整理しようとする。	・歴史的仮名遣いについて理解し、説話のおもしろさを読み取る。 ・問題集・プリント・古文単語テキスト	○	○	○	【知識・技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで歴史的仮名遣いについて理解し、学習課題に沿って説話のおもしろさを読み取ろうとしている。	○	○	○	8
定期考査						○	○		1
1学期 「とんかつ」三浦哲郎 【知識及び技能】 ・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 【学びに向かう力、人間性等】 進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとする。	・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取る。 ・漢字・意味調べプリント	○	○	○	【知識・技能】 ・会話や行動の描写に着目して、登場人物の心情とその変化を読み取っている。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 進んで本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捉え、学習課題に沿って、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考えようとしている。	○	○	○	7
「枕草子」うつくしきもの 清少納言 【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え、古今異義語について考えようとする。	・作品の内容を自分と関係づけながら、ものの見方、感じ方、考え方を深める、動詞の働きについて学ぶ。 ・動詞プリント ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・進んで自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、学習課題に沿って、「うつくしきもの」に共通する特徴を捉え、古今異義語について考えようとしている。	○	○	○	6
定期考査						○	○		1

2 学 期	<p>「羅生門」芥川龍之介</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもつこと。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・極限状態にある登場人物の心情の変化を、場面の展開に即して読み取り、主題を考える。 ・漢字・意味調べプリント ・一人1台端末の活用 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、我が国の言語文化について自分の考えをもっている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>進んで描かれている内容についての見解をまとめ、学習課題に沿って、発表や討論を通じて得た他の意見も踏まえながら、考えを深めようとしている。</p>	○	○	○	13
	定期考査						○	○		1
	<p>「伊勢物語」芥川</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈すること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>進んでコミュニケーションツールとしての和歌の役割について理解し、学習課題に沿って、和歌を書き換えようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌物語に描かれている内容を、叙述を基に的確に捉える。 ・動詞プリント ・一人1台端末の活用 等 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・古典の世界に親しむために、古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまり、古典特有の表現などについて理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、作品や文章に表れているものの見方、感じ方、考え方を捉え、内容を解釈している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>進んでコミュニケーションツールとしての和歌の役割について理解し、学習課題に沿って、和歌を書き換えようとしている。</p>	○	○	○	13
定期考査						○	○		1	
3 学 期	<p>「デューク」江國香織</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>進んで文章の構成や展開、表現の特色などを理解し、学習課題に沿って、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話の展開を捉えようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公の心情の変化を読み取り、細かい表現に注意して話の展開を捉える。 ・漢字と意味調べプリント ・一人1台端末の活用 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文章の意味は、文脈の中で形成されることを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>進んで文章の構成や展開、表現の特色などを理解し、学習課題に沿って、主人公の心情の変化を読み取り、表現に注意して話の展開を捉えようとしている。</p>	○	○	○	6
	<p>訓読の基本</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解すること。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えること。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つこと。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・漢文の特色を知り、訓読のきまりを理解するとともに、格言に親しむ。 ・漢和辞典の使い方を知り、漢字の読みと意味の関係について理解する。 ・一人1台端末の活用・プリント 	○	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、文化の継承、発展、創造を支える働きがあることを理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、内容や構成、展開などについて叙述を基に的確に捉えている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>進んで漢文の特色や訓読のきまりを理解し、見通しを持って、古典を学ぶ意味について考えを持つようとしている。</p>	○	○	○	7
	定期考査						○	○		1
合計										
70										

大田桜台 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 公民 科目 公共

教科： 公民 科目： 公共 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： (1組：石橋) (2組：石橋) (3組：石橋) (4組：石橋) (5組：石橋)

使用教科書： (高等学校 公共 (教育図書))

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 考察・選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解する。また、諸資料から、必要な情報を調べまとめる技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、構想したことを議論する力を養う

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養う。また、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

科目 公共 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代社会の諸課題についての基本的な知識を身につける	現代社会の諸課題の解決のために主体的に考え判断する能力を身に付ける	主体的、対話的な授業を通し、生徒が社会参画者であることの自覚を深める

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>A 単元「公共の扉 公共と人」</p> <p>【知識及び技能】 自分自身が公共的空間の主体となり、自分のキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことについて理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めさせる。</p>	<p>①人は一人では生きられない ②人はどのようにつながるのか ③自由と正義の実現を目指して ④対話から生まれる公共 ⑤日本の公共思想</p>	<p>【知識・技能】 自分自身が公共的空間の主体となり、自分のキャリア形成とともによりよい社会の形成に結びつくことについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 地域社会などのさまざまな集団の一員として生き、他者との協働により当事者として国家・社会などの公共的空間を作る存在であることについて多面的・多角的に考察し、表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めている。</p>	○	○	○	5
<p>B 単元「公共の扉 公共と倫理」</p> <p>【知識及び技能】 選択・判断の手がかりとして功利主義、義務論などの考え方について理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 社会現象や政策判断を、功利主義、義務論の考え方に基づき表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 学習した内容を自らの倫理観、過去の行為に照らし合わせて考えさせる。</p>	<p>①功利主義と義務論 ②水俣病を考える ③地球温暖化問題 ④誰が医療を支えるのか</p>	<p>【知識・技能】 選択・判断の手がかりとして功利主義、義務論などの考え方について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 社会現象や政策判断を、功利主義、義務論の考え方に基づき表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学習した内容を自らの倫理観、過去の行為に照らし合わせて考えている。</p>	○	○	○	4
<p>1 学期</p> <p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>C 単元「公共の扉 公共の基本原 理」</p> <p>【知識及び技能】 社会契約説、自然権、三権分立など民主政治の重要概念を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 人権に関する諸問題解決のための施策について考えさせる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 民主政治や人権を重要視し、それらに関した問題解決のために深く考える姿勢・態度を育てる。</p>	<p>①生徒会予算をどう分配するか ②意見が分かれたときにどう決めるか ③民主政治の歴史 ④日本国憲法の三つの原理 ⑤基本的人権の尊重 平等・自由・義務 ⑥大学入試と男女差別 ⑦なぜ女性医師が日本では少ないのか ⑧表現の自由とヘイトスピーチ</p>	<p>【知識・技能】 社会契約説、自然権、三権分立など民主政治の重要概念を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 人権に関する諸問題解決のための施策について考え、表現することができている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 民主政治や人権を重要視し、それらに関した問題解決のために深く考える姿勢・態度を身に付けようとしている。</p>	○	○	○	8

<p>D 単元「現代社会の諸課題 法」</p> <p>【知識及び技能】 法の下で活動するために必要な知識、技能を身につけさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 法を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>定期考査</p>	<p>①法と社会 ②「忘れられる権利」は認められるべきか？ ③男女平等は法で実現できるか？ ④多様な契約 ⑤消費者の権利と責任 ⑥なぜ未成年は自由に契約できないのか？ ⑦消費者はどのように保護されているのか？ ⑧日本の司法制度 ⑨国民の司法参加 ⑩刑事裁判と民事裁判の違いは何だろうか？ ⑪なぜ疑わしいときは被告人の利益とすべきか？</p>	<p>【知識・技能】 法の下で活動するために必要な知識、技能が身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 法を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとしている。</p>	○	○	○	11
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>E 単元「現代社会の諸課題 政治」</p> <p>【知識及び技能】 現代の政治システムの下で活動するために必要な知識、技能を身につけさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 政治を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>定期考査</p>	<p>①選挙と政治参加 ②公正な世論の形成 ③日本の若者の投票率はなぜ低いのか？ ④国会と内閣 ⑤地方自治 ⑥「国民投票」は本当にベストな方法か？ ⑦国家主権と領土 ⑧国家なき民族、クルド人は独立国家を目指すべきか？ ⑨紛争解決のために国際法は有効なのか？ ⑩安全保障と防衛 ⑪21世紀の世界情勢 ⑫憲法9条と日本の安全保障をどう両立させるか？ ⑬「平和」と「安全保障」はどう違うのだろうか？ ⑭国際社会と日本 ⑮SDGsと私たちの生活はどう関係しているのだろうか？</p>	<p>【知識・技能】 現代の政治システムの下で活動するために必要な知識、技能が身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 政治を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとしている。</p>	○	○	○	15
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>F 単元「現代社会の諸課題 経済1」</p> <p>【知識及び技能】 現代の資本主義経済システムの下で活動するために必要な知識、技能を身につけさせる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めさせる。</p> <p>定期テスト</p>	<p>①職業選択 ②AIの進化は仕事をどう変えるか？ ③都会で働くか、地方で働くか？ ④雇用と労働 ⑤メンバーシップ型かジョブ型か？ ⑥財政支出削減のため水道を民営化すべきか？ ⑦格差は正のために課税すべきか？ ⑧少子化と社会保障 ⑨小学校・中学校に給食は必要か？</p>	<p>【知識・技能】 現代の資本主義経済システムの下で活動するために必要な知識、技能が身につけている。</p> <p>【思考・判断・表現】 経済を関連させ、自立した主体として解決が求められる具体的な主題を設定し、その主題解決に向けて事実を基に協働して考察したり構想したりしたことを論拠をもって表現できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 よりよい社会の実現を視野に現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、公共的空間に生きる人間としてのあり方生き方について自覚を深めようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>定期テスト</p>			○	○	○	1

2
学
期

大田桜台 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： 望月梨衣

使用教科書： （ 最新数学 I 数研出版 ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 数学における基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけようとする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考えを数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の課程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、図形と計量、2次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	命題の条件や結論に着目し、数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力、図形の構成要素間の関係に着目し、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、社会の事象などから設定した問題について、データの散らばりや変量間の関係などに着目し、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり、解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第1章 数と式 第1節 数と式 【知識及び技能】 ①ある文字に着目して、多項式を降べきの順に整理することができる。 ②指数法則を理解し、計算に用いることができる。分配法則を用いて、式を展開することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①複雑な式の展開について、式の工夫の仕方を判断して式を展開することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①式の特徴に着目して複雑な式の因数分解に取り組もうとする。	・指導事項 1. 多項式 2. 多項式の加法・減法・乗法 3. 展開の公式 4. 式の展開の工夫 5. 因数分解 6. いろいろな因数分解 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①同類項をまとめて、多項式を降べきの順に整理することができる。また、ある文字に着目して、多項式を降べきの順に整理することができる。 ②二次の乗法公式及び因数分解の公式の理解を深めることができる。 【思考・判断・表現】 ①問題を解決するためにすでに学習した計算の方法と関連付けて、式を多面的にとらえたり目的に応じて適切に変形したりすることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①単項式、多項式とその整理の仕方に関心をもち、考察しようとする。	○	○	○	9
第1章 数と式 第2節 実数 【知識及び技能】 ①数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算ができるようになる。 ②不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①不等式の性質をもとに一次不等式を解く方法を考察することができる。 ②日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする態度を養う。 ②身近な問題を、1次不等式を用いて解決しようとする態度を養う。	・指導事項 7. 実数 8. 根号を含む式の計算 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①有理数と無理数の違い、および実数について理解することができる。 ②平方根を含む式の計算ができる。 ③不等式の性質、1次不等式の解法を理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ①分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを考察できる。 ②身近な問題に対し、適切に変数を定め、1次不等式で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①循環小数を分数で表す方法に興味・関心をもち、 ②不等式の性質から、1次不等式の解法を考察しようとする。	○	○	○	4
定期考査			○	○		1
1 学期 第1章 数と式 第2節 実数 【知識及び技能】 ①数を実数まで拡張する意義を理解し、簡単な無理数の四則計算ができるようになる。 ②不等式の解の意味や不等式の性質について理解し、一次不等式の解を求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①不等式の性質をもとに一次不等式を解く方法を考察することができる。 ②日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、一次不等式を問題解決に活用することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①今まで学習してきた数の体系について整理し、考察しようとする態度を養う。 ②身近な問題を、1次不等式を用いて解決しようとする態度を養う。	・指導事項 9. 不等式 10. 不等式の性質 11. 1次不等式の解き方 12. 連立不等式 13. 不等式の利用 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ①有理数と無理数の違い、および実数について理解することができる。 ②平方根を含む式の計算ができる。 ③不等式の性質、1次不等式の解法を理解し、1次不等式を解くことができる。 【思考・判断・表現】 ①分数が有限小数や循環小数で表される仕組みを考察できる。 ②身近な問題に対し、適切に変数を定め、1次不等式で表現できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①循環小数を分数で表す方法に興味・関心をもち、 ②不等式の性質から、1次不等式の解法を考察しようとする。	○	○	○	6

2 学 期	<p>第2章 集合と命題</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①集合と命題に関する基本的な概念を理解することができる。</p> <p>②命題の真偽を、集合や反例などを用いて判定することができる。また、命題とその対偶の真偽が一致することを理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①集合の考えを用いて論理的に考察し、簡単な命題を証明することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①条件を満たすものの集合の包含関係が、命題の真偽に関連していることに着目し、命題について調べようとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 集合と部分集合</p> <p>2. 共通部分、和集合、補集合</p> <p>3. 命題と集合</p> <p>4. 命題と証明</p> <p>・教材</p> <p>教科書・問題集・プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①真である命題の逆は、真であるとは限らないことを理解している。</p> <p>②必要条件、十分条件の意味を理解している。</p> <p>③対偶や背理法を用いて証明することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①ベン図などを用いて、集合を視覚的に表現して考察することができる。</p> <p>②命題の真偽を、集合の包含関係に結び付けてとらえることによって考察することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①集合について、それぞれの特徴や関係に合った表現方法を考察しようとする。</p> <p>②直接証明法では難しい命題も、対偶や背理法を用いれば証明できることに興味・関心をもつ。</p>	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
	<p>第3章 2次関数</p> <p>第1節 2次関数とグラフ</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①2次関数の値の変化やグラフの特徴について理解することができる。</p> <p>②2次関数の最大値や最小値を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①2次関数の式とグラフとの関係について、コンピュータなどの情報機器を用いてグラフを書く等の活動を通して多面的に考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①平行移動した2次関数のグラフを書くこととすることができる。</p> <p>②2次関数が最大値または最小値をもつことを、グラフを使って、理解しようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 関数</p> <p>2. 関数とグラフ</p> <p>3. $y = ax^2$のグラフ</p> <p>4. $y = ax^2 + q$のグラフ</p> <p>5. $y = a(x - p)^2$のグラフ</p> <p>6. $y = a(x - p)^2 + q$のグラフ</p> <p>7. $y = ax^2 + bx + c$のグラフ</p> <p>8. 2次関数の最大・最小</p> <p>9. 2次関数の決定</p> <p>・教材</p> <p>教科書・問題集・プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①xの関数yが与えられたとき、xの値に対するyの値を求めることができる。</p> <p>②$y = ax^2 + bx + c$を$y = a(x - p)^2 + q$の形に変形し、そのグラフをかくことができる。</p> <p>③2次関数の最大値、最小値を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①関数を表、式、グラフによって考察することができる。</p> <p>②2次関数のグラフの平行移動は、頂点の移動を考察すればよいことを理解している。</p> <p>③2次関数の決定において、適した2次関数の式の形を使うことができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①関数が与えられたとき、そのグラフをかこうとする。</p> <p>②身近な問題を、2次関数の最大・最小の考えを活用して解決しようとする。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
	<p>第3章 2次関数</p> <p>第2節 2次方程式と2次不等式</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①2次方程式の解と2次関数のグラフとの関係性について理解することができる。</p> <p>②2次不等式の解と2次関数のグラフとの関係について理解し、2次関数のグラフを用いて2次不等式の解を求めることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①二つの数量の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の過程を振り返って事象の数学的な特徴やほかの事象との関係を考察することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①2次方程式を因数分解や解の公式を利用して積極的に解こうとすることができる。</p> <p>②2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解こうとすることができる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>10. 2次方程式</p> <p>11. 2次関数のグラフとx軸の共有点</p> <p>12. 2次不等式</p> <p>13. 2次不等式の利用</p> <p>・教材</p> <p>教科書・問題集・プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①因数分解、解の公式を用いて、2次方程式を解くことができる。</p> <p>②2次関数のグラフを利用して、2次不等式を解く方法を理解し、2次不等式を解くことができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①2次方程式が実数解や重解をもつための条件を式で示すことができる。</p> <p>②2次関数のグラフとx軸の共有点の個数や位置関係を、$D = b^2 - 4ac$の値から考察できる。</p> <p>③2次関数のグラフ、2次方程式、2次不等式を関連づけて考えられる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①2次方程式がどんな場合でも解けるように、解の公式を得て、それを積極的に利用しようとする。</p> <p>②身近な問題を、2次方程式や2次不等式を用いて解決しようとする。</p>	○	○	○	8
<p>第4章 図形と計量</p> <p>第1節 三角比</p> <p>【知識及び技能】</p> <p>①鋭角の三角比の意味と相互関係について理解することができる。</p> <p>②三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解することができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <p>①図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、相互関係などの定理や公式として導くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <p>①日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を身につける。</p> <p>②三角比の相互関係を調べようとする。</p>	<p>・指導事項</p> <p>1. 鋭角の三角比</p> <p>2. 三角比の利用</p> <p>3. 三角比の相互関係</p> <p>・教材</p> <p>教科書・問題集・プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①三角比は、直角三角形の辺の比であることを理解している。</p> <p>②三角比を使って、距離や高さを求めることができる。</p> <p>③三角比の相互関係を用いて、三角比の1つの値から残り2つの三角比の値を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>①三角比の値が角の大きさによって定まることを理解している。</p> <p>②直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として見ることができる。</p> <p>③座標を用いた鈍角の三角比の定義を理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>①直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として見ることができる。</p> <p>②三角比の相互関係が鋭角、鈍角のどちらのときも成り立つことを調べようとする。</p>	○	○	○	5	
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>第4章 図形と計量 第1節 三角比</p> <p>【知識及び技能】 ①鋭角の三角比の意味と相互関係について理解することができる。 ②三角比を鈍角まで拡張する意義を理解し、鋭角の三角比の値を用いて鈍角の三角比の値を求める方法を理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①図形の構成要素間の関係を三角比を用いて表現するとともに、相互関係などの定理や公式として導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①日常の事象や社会の事象などを数学的にとらえ、三角比を活用して問題を解決する力を身につける。 ②三角比の相互関係を調べようとする。</p>	<p>・指導事項 4. 三角比の拡張 5. 三角比が与えられたときの角 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ①三角比は、直角三角形の辺の比であることを理解している。 ②三角比を使って、距離や高さを求めることができる。 ③三角比の相互関係を用いて、三角比の1つの値から残り2つの三角比の値を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①三角比の値が角の大きさによって定まることを理解している。 ②直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として見ることができる。 ③座標を用いた鈍角の三角比の定義を理解している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①直接測ることのできない距離などの求め方を考えようとし、具体的な事象を三角比の問題として見ることができる。 ②三角比の相互関係が鋭角、鈍角のどちらのときも成り立つことを調べようとする。</p>	○	○	○	3
	<p>第4章 図形と計量 第2節 正弦定理・余弦定理</p> <p>【知識及び技能】 ①正弦定理や余弦定理について三角形の決定条件や三平方の定理と関係付けて理解し、三角形の辺の長さや外接円の半径、三角形の角の大きさ、面積などを求めることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①図形の構成要素間の関係に着目し、日常の事象や社会の事象などを数学的に捉え、問題を解決したり、解決の課程を振り返って事象の数学的な特徴や他の事象との関係を考察したりすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①正弦定理と余弦定理の図形的意味を考察し、活用しようとする。 ②日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。</p>	<p>・指導事項 6. 正弦定理 7. 余弦定理 8. 三角形の面積 9. 図形の計量 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ①正弦定理や余弦定理を用いて三角形の辺の長さや外接円の半径、角の大きさを求めることができる。 ②2辺の長さとその間の角の大きさが与えられた三角形の面積を求めることができる。 ③四角形を対角線で2つの三角形に分割して、面積を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①条件に合わせて三角形の辺の長さや角の大きさ、面積を求めるための解法への課程を考察することができる。 ②正弦定理や余弦定理を用いて、身近な測量問題が解決できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①正弦定理や余弦定理、三角形の面積の公式の図形的意味を考察する。 ②日常の事象や社会の事象などに正弦定理や余弦定理を活用しようとする。</p>	○	○	○	4
	<p>第5章 データの分析</p> <p>【知識及び技能】 ①分散、標準偏差、散布図及び相関係数の意味やその用い方を理解することができる。 ②コンピュータなどの情報機器を用いて、データを表やグラフに整理したり、分散や標準偏差などの基本的な統計量を求めたりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ①データの散らばり具合や傾向を数値化する方法を考察することができる。 ②目的に応じて複数の種類のデータを収集し、適切な統計量やグラフ、手法などを選択して分析を行い、データの傾向を把握して事象の特徴を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 ①データを整理して全体の傾向を考察しようとする。 ②問題の解決や改善を図るために、現状のデータの分布を望ましいと考える方向に変えるための条件や改善策を、コンピュータなどの情報機器を積極的に用いるなどして探ろうとする。</p>	<p>・指導事項 1. データの整理 2. データの代表値 3. データの散らばり 4. データの相関 5. 相関係数 ・教材 教科書・問題集・プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ①平均値や最頻値、中央値の定義や意味を理解し、それらを求めることができる。 ②データの分布と箱ひげ図の関係について理解し、箱ひげ図をかくことができる。 ③分散、標準偏差に関する公式を用いて、これらを求めることができる。 【思考・判断・表現】 ①データの分布の仕方によっては、代表値として平均値を用いることが必ずしも適切ではないことを理解している。 ②データの中のある値が外れ値であるかどうかを考察できる。 ③相関係数の大きさを数値化する方法を考察しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ①身近な統計における代表値の意味について考察しようとする。 ②データの散らばり具合をどのように数値化するかを考察しようとする。 ③相関と因果関係について、興味・関心をもつ。</p>	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
							合計
							70

大田桜台 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 理科 科目 科学と人間生活

教科： 理科 科目： 科学と人間生活 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1組：高橋慎博） （2組：田中春菜） （3組：田中春菜） （4組：高橋慎博） （5組：田中春菜）

使用教科書： （科人702 「科学と人間生活」 実教出版 ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】 自然の事物・現象を探究するために必要な観察・実験などに関する知識・技能を育成する。

【思考力、判断力、表現力等】 理科の見方・考え方を働かせ、観察・実験などを行うことを通し、科学的に探究する能力と態度を育てる。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、科学的な自然観を育成する。

科目 科学と人間生活 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然と人間生活とのかかわりおよび科学技術と人間生活とのかかわりについて理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察・実験などに関する技能を身に付けている。	人間生活と関連のある自然の事物や現象の中に問題を見出し、実験・観察・調査などを行うとともに、ものごとを実証的・論理的に考察したり分析したりすることにより、それを表現することができる。	自然の事物・現象に進んでかかわり、科学的に探究しようとする態度が養われており、自然の原理・法則や科学技術の発展と人間生活とのかかわりについて社会が発展するための基盤となる科学に対する興味・関心を高めている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 科学と技術の発展 【知識及び技能】 科学技術はさまざまな努力によって築き上げられたものであること、および人間生活を豊かにするが使い方を誤ると人類の将来だけでなく地球全体にも大きな影響を及ぼすことにもなることを理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の科学技術について歴史的な経緯を踏まえ、人間と科学技術の関係における問題点を考えて、将来に向けての展望を持つとともに、それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が科学とどのように関わり合って発展してきたか、意欲的に学習できる。	・科学の発展の歴史 ・現代の科学技術について歴史的な経緯 ・教科書、ワーク、一人1 端末の活用	【知識及び技能】 科学技術はさまざまな努力によって築き上げられたものであること、および人間生活を豊かにするが使い方を誤ると人類の将来だけでなく地球全体にも大きな影響を及ぼすことにもなることを理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 現代の科学技術について歴史的な経緯を踏まえ、人間と科学技術の関係における問題点を考えて、将来に向けての展望を持つとともに、それを表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 科学の発展の歴史に興味をもち、人間生活を支える技術が科学とどのように関わり合って発展してきたか、意欲的に学習しようとする。	○	○	○	2
	B 物質の科学 【知識・技能】 代表的な金属の元素記号が書け、めっきの種類や合金の種類を理解できる。 【思考・判断・表現】 めっきや合金の生成について実験を通じて観察し記録できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習した内容を日常生活に結び付けて考えることができる。	・金属と人間生活 ・身の回りの金属と精錬 ・教科書、ワーク、一人1 端末の活用	【知識・技能】 代表的な金属の元素記号が書けるようになり、めっきの種類や合金の種類を理解している。 【思考・判断・表現】 めっきや合金の生成について実験を通じて観察し記録している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習した内容を日常生活に結び付けて自らの学習を調整しようとしている。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
	B 物質の科学 【知識及び技能】 身の回りのプラスチックについてその種類や資源の再利用について理解することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂の性質の違いから、身の回りのものがどちらに分類されるか説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 学習した内容を日常生活に結び付け、ごみの分別などにも応用することができる。	・金属のさびとその防止 ・プラスチックとその性質 ・プラスチックの成り立ち ・さまざまなプラスチック ・資源の再利用 ・教科書、ワーク、一人1 端末の活用	【知識・技能】 プラスチックの種類がわかる。プラスチックの製法や性質を理解している。 【思考・判断・表現】 熱可塑性樹脂と熱硬化性樹脂の性質の違いから、身の回りのものがどちらに分類されるか適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 学習した内容を日常生活に結び付け、ごみの分別などにも応用しようとしている。	○	○	○	12
	C 生命の科学 【知識・技能】 眼の基本的な構造及び眼で受容した光の情報が脳に伝えられて視覚が生じることを理解することができる。 【思考・判断・表現】 盲点や近点を検出する実験を通して、眼の構造を説明することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヒトの生命現象について、興味・関心をもって意欲的に学習し、健康の維持について科学的な観点から理解しようとする。	・ヒトの生命現象と生活 ・眼の構造と働きについて ・教科書、ワーク、一人1 端末の活用	【知識・技能】 眼の基本的な構造及び眼で受容した光の情報が脳に伝えられて視覚が生じることを理解している。 【思考・判断・表現】 盲点や近点を検出する実験を通して、眼の構造を適切に表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヒトの生命現象について、興味・関心をもって意欲的に学習し、健康の維持について科学的な観点から日常生活に結び付けようとしている。	○	○	○	1
	定期考査			○	○		1

大田桜台 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：2 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（ 1～5 組： 後藤良宏、押元亜希子、茂呂真史、糸井謙 ）

使用教科書：（ 現代高等保健体育(大修館書店) ）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を養う。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

1 学 期	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配 当 時 数
	<p>A 単元 陸上競技</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、各種目特有の技能を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 短距離走 スポーツテスト 一人1台端末の活用 技能、技術習得のために適宜活用 	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 短距離走・リレーでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバトンの受け渡して次走者のスピードを十分に高めることができる。 長距離走では、自己に適したペースを維持して走ることができる。 <p>【思考・判断・表現】 動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	10
	<p>B 単元 体づくり運動</p> <p>【知識及び技能】 体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組むこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保すること。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 体ほぐし運動 実生活に生かす運動の計画 一人1台端末の活用 技能、技術習得のために適宜活用 	<p>【知識・技能】 運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする、話し合いに貢献しようとするなどや、健康・安全を確保したりすること。</p>	○	○	○	9
	<p>C 単元 水泳</p> <p>【知識及び技能】 記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに、効率的に泳ぐこと。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保すること。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> クロール、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの4泳法 一人1台端末の活用 技能、技術習得のために適宜活用 	<p>【知識・技能】 技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて、運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に関する心得を遵守するなど健康・安全を確保したりしている。</p>	○	○	○	9

大田桜台 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者：（1組：後藤良宏） （2組：糸井謙） （3組：後藤良宏） （4組：糸井謙） （5組：後藤良宏）

使用教科書：（現代高等保健体育（大修館書店））

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】個人及び社会生活に技能及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに、技能を身に付けるようにする。	健康についての自他や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	<p>A 単元（1）現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。 「健康の考え方」 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進にはヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなど、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会における様々な疾病や精神疾患など、時代の流れの中で健康自体の捉え方や、健康のために個人や社会に求められる変化に主体的に学びに向き合う、力を身に付ける。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康の考え方と成り立ち 私たちの健康の姿 生活習慣病の予防と回復 がんの原因と予防 がんの治療と回復 運動と健康 食事と健康 休養・睡眠と健康 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書・保健ノート・単元プリント 一人1台端末の適宜活用 ICTを活用したアンケートの実施 	<p>【知識・技能】 国民の健康課題や健康の考え方は、国民の健康水準の向上や疾病構造の変化に伴って変わってきていること。また、健康は、様々な要因の影響を受けながら、主体と環境の相互作用の下に成り立っていること。健康の保持増進には、ヘルスプロモーションの考え方を踏まえた個人の適切な意思決定や行動選択及び環境づくりが関わること理解している。 【思考・判断・表現】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7
	<p>B 単元（1）現代社会と健康</p> <p>【知識及び技能】 現代社会と健康について、自他や社会の課題を発見し、その解決を目指した活動を通して、次の事項を身に付けることができるようにする。 「現代の感染症とその予防」 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があること。 「生活習慣病などの予防と回復」 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であること。 【思考力、判断力、表現力等】 現代社会と健康に関わる事象や情報から課題を発見し、疾病等のリスクの軽減、生活の質の向上、健康を支える環境づくりなど、解決方法を関連付けて考え、適切な方法を選択し、それらを説明することができるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 現代社会における様々な疾病や精神疾患など、時代の流れの中で健康自体の捉え方や、健康のために個人や社会に求められる変化に主体的に学びに向き合う、力を身に付ける。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> 現代の感染症 感染症の予防 性感染症・エイズとその予防 健康に関する意思決定・行動選択 健康に関する環境づくり <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> 教科書・保健ノート・単元プリント 一人1台端末の適宜活用 ICTを活用したアンケートの実施 	<p>【知識・技能】 感染症の発生や流行には、時代や地域によって違いがみられること。その予防には、個人の取組及び社会的な対策を行う必要があることを理解している。 健康の保持増進と生活習慣病などの予防と回復には、運動、食事、休養及び睡眠の調和のとれた生活の実践や疾病の早期発見、及び社会的な対策が必要であることを理解している。 【思考・判断・表現】 現代社会と健康について、課題を発見し、健康や安全に関する原則や概念に着目して解決の方法を思考し判断しているとともに、それらを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 現代社会と健康についての学習に主体的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	7

<p>Lesson7</p> <p>【知識及び技能】 【知識】新出単語・関係副詞 where/when・関係代名詞 that を用いた文の形・意味・用法を理解できるようになる。 【技能】知識の理解を基に、プラスチックごみで命を落とす生物について書かれたニュースを読みとったり、聞き取ったりできるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 プラスチックごみで命を落とす生物や海洋汚染について話されるニュースの概要や要点を捉えることができるようになる。設問の意図を把握し、答えらえるようになる。自身の考えに基づいた回答の根拠を説明できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋汚染について、開いたり読んだりした情報や自分の考えと比べてSDG s について理解を深め、自分たちのできる対策について相手に配慮しながら話して伝えようとする。自律的に課題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係副詞 where/when 関係代名詞 that 現在分詞の分詞構文 関係代名詞の制限用法 過去完了形 授業用ワークシート 自主学習課題 	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>Lesson7</p> <p>【知識及び技能】 【知識】新出単語・関係副詞 where/when・関係代名詞 that を用いた文の形・意味・用法を理解できるようになる。 【技能】知識の理解を基に、プラスチックごみで命を落とす生物について書かれたニュースを読みとったり、聞き取ったりできるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 プラスチックごみで命を落とす生物や海洋汚染について話されるニュースの概要や要点を捉えることができるようになる。設問の意図を把握し、答えらえるようになる。自身の考えに基づいた回答の根拠を説明できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 海洋汚染について、開いたり読んだりした情報や自分の考えと比べてSDG s について理解を深め、自分たちのできる対策について相手に配慮しながら話して伝えようとしている。自律的に課題に取り組んでいる。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p> <p>6</p>
<p>Lesson8</p> <p>【知識及び技能】 【知識】新出単語・現在分詞の分詞構文・関係代名詞の非制限用法・過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解できるようになる。 【技能】知識の理解を基に、イギリスや日本の食料資源について話される対話の内容を読みとったり、聞き取ったりできるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 タラの漁獲量のグラフを読み取り、食料資源の問題について概要や要点を捉えることができるようになる。情報に基づいて設問の意図を把握し、答えらえるようになる。自身の考えに基づいた回答の根拠を説明できるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 食糧資源問題やSDG s について、開いたり読んだりした情報や自分の考えと比べて人間の行動について理解を深め、相手に配慮しながら話して伝えようとする。自律的に課題に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 関係副詞 where/when 関係代名詞 that 現在分詞の分詞構文 関係代名詞の制限用法 過去完了形 授業用ワークシート 自主学習課題 	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>Lesson8</p> <p>【知識及び技能】 【知識】新出単語・現在分詞の分詞構文・関係代名詞の非制限用法・過去完了形を用いた文の形・意味・用法を理解できるようになっている。 【技能】知識の理解を基に、イギリスや日本の食料資源について話される対話の内容を読みとったり、聞き取ったりできるようになっている。 【思考力、判断力、表現力等】 タラの漁獲量のグラフを読み取り食料資源の問題について概要や要点を捉えることができるようになる。情報に基づいて設問の意図を把握し、答えらえるようになる。自身の考えに基づいた回答の根拠を説明できるようになっている。 【学びに向かう力、人間性等】 食糧資源問題やSDG s について、開いたり読んだりした情報や自分の考えと比べて人間の行動について理解を深め、相手に配慮しながら話して伝えようとしている。自律的に課題に取り組んでいる。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p> <p>7</p>
<p>定期考査</p>		<p>○ ○ ○ ○ ○</p>		<p>○ ○ ○ ○ ○</p> <p>1</p>
<p>多読・多聴・アクティビティ</p> <p>【知識及び技能】 新しい単語、表現を推測し理解できるようになる。単語の中核ニュアンスやコロケーションを獲得できるようになる。 英語の音声や語彙・表現を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 未知の単語、表現について前後の文脈や既知の単語から自身の考えに基づいて推測できるようになる。新たに獲得した単語や表現を他の教材や自身のライティングに使うことができる。 英語の音声や語彙・表現を使用し自身の考えや情報を表したり、やり取りをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多読の記録を継続的につけることができる。多読多聴のルールを順守して自律的に取り組みを行うことができる。 間違いを恐れずに英語の音声や語彙・表現を使用し自身の考えや情報を伝えようとする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 多読手帳の点検 アクティビティワークシートに準拠する 	<p>○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>【知識及び技能】 新しい単語、表現を推測し理解できるようになっている。単語の中核ニュアンスやコロケーションを獲得できるようになっている。 英語の音声や語彙・表現を理解し発言している。 【思考力、判断力、表現力等】 未知の単語、表現について前後の文脈や既知の単語から自身の考えに基づいて推測できるようになっている。新たに獲得した単語や表現を他の教材や自身のライティングに使うことができる。 英語の音声や語彙・表現を使用し自身の考えや情報を表したり、やり取りをすることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 多読の記録を継続的につけることができる。多読多聴のルールを順守して自律的に取り組みを行うことができる。間違いを恐れずに英語の音声や語彙・表現を使用し自身の考えや情報を伝えようとしている。</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○</p> <p>16</p>

大田桜台 高等学校 令和5年度（1学年用）教科 外国語 科目 論理・表現 I

教科： 外国語 科目： 論理・表現 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： (木下美) (落合) (斎藤) (服部) (佐藤)

使用教科書： (BIG DIPPER English Logic and Expression)

教科 外国語 の目標：

【知識及び技能】 実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につける

【思考力、判断力、表現力等】 目的や場面、状況などに応じて話し手や書き手の意図などを的確に理解し、表現したり、伝え合ったりすることができる

【学びに向かう力、人間性等】 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら主体的にコミュニケーションを図ろうとする

科目 論理・表現 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語のまじりや特徴を単に知識として理解させるだけでなく、その培った知識を実際のコミュニケーションにおいて活用することができる技能が身につくようにする。	具体的な課題や状況を設定し、それに応じて情報を整理しながら、自分の考えなどを形成し、英語を使って表現したり、伝え合ったりすることができるようにする。	具体的な課題や状況を設定し、それに応じて情報を整理しながら、自分の考えなどを形成し、英語を使って表現したり、伝え合ったりすることができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 [や]	話 [発]	書					
1 学 期	A Self Introduction / My favorite 【知識及び技能】 情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える。 【思考力、判断力、表現力等】 これまで学習してきた事を用い、伝えたい内容を簡単な英語で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 伝えたい内容を積極的に伝えようとし、また、他人の意見を聞くこととする。	指導事項 ・スピーチの基本知識、技術を身に付けるようにする ・プレゼンテーション資料の作成及び発表準備を行う 教材 ・ワークシート(授業内配布) 一人1台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる	○	○	○	○	○	○	○	○	20
	B 多読多聴 【知識及び技能】 既習済みの語彙力を活用して、多読多聴教材を読ませる。 【思考力、判断力、表現力等】 文の前後関係や、挿絵から意味や内容を推測し、語彙力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に教材を読んだり聞いたりし、英語を楽しませる。	指導事項 ・多種多彩な情報を視覚や前後関係から読み取る力を育てる 教材 ・多読及び多聴用図書 一人1台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる	○	○							12
	C Lesson1はじめに① Lesson2はじめに② Lesson4MyFriends 【知識及び技能】 主語・動詞が英文を書く上で重要であることを理解する。また、肯定文・否定文・疑問文の表現を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 主語・動詞・肯定文・否定文・疑問文に注意して、個々の内容を理解し、適切な思考・判断をもって対応できるようにさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 日常の行動を表す表現を習得しようとしている。また、否定の表現を理解させる。	指導事項 ・どのようなときに肯定文・否定文・疑問文を使うのか、またそれぞれの作り方を理解させる 教材 ・BIG DIPPER 一人1台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる	○	○		○					10
2 学 期	A My summer 【知識及び技能】 情報や考え、気持ちなどを適切な理由や根拠とともに段落を書いて伝える。 【思考力、判断力、表現力等】 1学期に学習してきた事を用い、伝えたい内容を英語で表現させる。 【学びに向かう力、人間性等】 伝えたい内容を積極的に伝えようとし、また、他人の意見を聞くこととする。	指導事項 ・1学期に培ったスピーチの基本知識、技術を活用させる ・パワーポイントを用い、プレゼンテーション資料の作成及び発表準備を行う 教材 ・ワークシート(授業内配布) 一人1台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる	○	○	○	○	○	○	○	○	20
	B 多読多聴 【知識及び技能】 既習済みの語彙力を活用して、多読多聴教材を読み進める。 【思考力、判断力、表現力等】 文の前後関係や、挿絵から意味や内容を推測し、語彙力を高める。 【学びに向かう力、人間性等】 積極的に教材を読んだり聞いたりし、英語を楽しもうとしている。	指導事項 ・多種多彩な情報を視覚や前後関係から読み取る力を育てる 教材 ・多読及び多聴用図書 一人1台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる	○	○							12

3 学 期	<p>C Lesson6 Passtime / Lesson7 My town</p> <p>【知識及び技能】 自分自身や相手の未来の予定についてコミュニケーションを図る技能を身に付けている。また現在完了(進行)形・過去完了(進行)形についての表現を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 適切な場面に応じて未来や完了の表現ができたり、それらに注意して個々の内容を理解し、適切な思考・判断をもって対応できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 予定や完了の行動の内容を述べる表現を積極的に習得しようとしている。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未来形や現在完了の意味、またそれぞれの作り方を理解させる <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BIG DIPPER 一人1 台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる 					<p>【知識及び技能】 英語で「未来」、また「完了結果」「経験」「継続」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。自分や話し相手の予定や経験などについてのコミュニケーションを図る技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ①適切な場面に応じて、willを用いて「自然の成り行き」「意志」を表現したり、be going toを用いて「前から計画していること」「近い未来の予定」を表現し、それらの意味に注意して適切な思考判断をもってそれに対応する。②適切な場面に応じて、have / had + 過去分詞を用いて現在/過去完了の意味を表現したり、have / had + been + ~ingを用いて現在/過去完了進行形の意味を表現したりする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 予定計画される行動の内容を述べる表現やある時点までの経験や継続される動作の内容を述べる表現などを習得しようとしている。</p>				10
	<p>A Recitation</p> <p>【知識及び技能】 物語を暗記する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 暗記した物語を、自分なりの解釈を加えて、他人に伝えようとする。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 伝えたい内容を身振り手振りなどを用い、積極的に伝えようとする。また、他人の発表を聞く。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ただ暗記するだけでなく、場面や状況に応じて、感情やイントネーションの工夫させる。 <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レシテーション用教材 一人1 台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる 					<p>【知識及び技能】 正しい発音やアクセントを理解して、使っている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 物語の状況や場面に応じて、情報や感情などを伝えようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 物語の状況や場面に応じて、相手に情報や感情などを伝えようとする工夫している。</p>				10
	<p>B 多読多聴</p> <p>【知識及び技能】 既習済みの語彙を活用して、多読多聴教材を読み進める。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文の前後関係や、挿絵から意味や内容を推測し、語彙力を高める。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 積極的に教材を読んだり聞いたりし、英語を楽しもうとしている。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多種多様な情報を視覚や前後関係から読み取る力を育てる <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多読及び多聴用図書 一人1 台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる 					<p>【知識及び技能】 既知知っている語彙をもとに、物語を読み進めたり、聞くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 わからない単語等も文の前後関係から推測し、物語を読み進めたり、聞くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 多くの多読多聴用教材を読んだり聞いたりし、そこから新しい語彙力を得たり、英語を楽しもうとしている。</p>				6
<p>C Lesson8 Our Teachers / Lesson9 Visiting a Museum</p> <p>【知識及び技能】 さまざまな助動詞についての表現を理解している。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 適切な場面に応じて助動詞の活用ができたり、それらに注意して個々の内容を理解し、適切な思考・判断をもって対応できる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 助動詞の表現を積極的に習得しようとしている。</p>	<p>指導事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・助動詞の意味、またそれぞれの作り方を理解させる <p>教材</p> <ul style="list-style-type: none"> ・BIG DIPPER 一人1 台端末の利用 ・適宜端末を利用し、調べ学習をさせる 					<p>【知識及び技能】 「可能」「許可」「推量」「助言・義務」「必要・不必要」「禁止」の意味を表すにはどのような表現を用いるのかを理解している。また身近な人に依頼や許可、提案や必要などを伝えたり、身近な人の行動や状況を推測してコミュニケーションを図る技能を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 適切な場面において、can/may/must/shouldなどを用いて、それぞれの意味を表現している。また個々の英文の内容を理解し、適切な判断をもってそれに対応する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 助動詞の丁寧さの違いを認識して、話し相手に応じて適切にコミュニケーションを図ろうとしている。また助動詞の表現を身に付けようとしている。</p>				5	
合 計										105	

年間授業計画

大田桜台高等学校 令和5年度（1学年用） 教科

商業 科目 ビジネス基礎

教科： 商業

科目： ビジネス基礎

単位数： 2 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： (1組：木下いづみ) (2組：馬場美直) (3組：高石みどり) (4組：馬場美直) (5組：高石みどり)

使用教科書： (ビジネス基礎 (実教出版))

教科 0

の目標：

- 【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 ビジネス基礎

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ビジネスについて実務に即して体系的・系統的に理解し、ビジネスの様々な場面で役に立つ、ビジネスに関する基礎的な知識と技術を身に付けている。	ビジネスをはじめとして様々な知識、技術を活用し、ビジネスに関する課題を発見するとともに、企業活動が社会に及ぼす影響を踏まえ、市場の動向、ビジネスに関する理論、データ、成功事例や改善に要する根拠に基づいて工夫してよりよく解決することについて考えている。	ビジネスを適切に展開する力の向上を目指して自らビジネスについて学ぶ態度及び組織の一員として自己の役割を認識して、当事者としての意識をもち、他者と信頼関係を構築して積極的に関わり、ビジネスの創造と発展に責任をもって取り組もうとしている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 単元 第1章 商業の学習とビジネス 1. いざ、ビジネスの世界へ 2. 私たちの社会とビジネス 【知識及び技能】 商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 商業の味方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じて、地域産業を始め経済社会の健全で持続的な発展の担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成するよう指導する。 ・教材 教科書 ビジネス基礎 (実教出版) 副教材 ビジネス基礎準拠問題集 (実教出版) ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 商業を学ぶ重要性と学び方、ビジネスの概要について理解している。 【思考・判断・表現】 商業を学ぶこと及びビジネスの意義と課題について、経済社会の持続的な発展と関連について考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスの基礎的な事項について自ら学び、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	中間考査			○	○		1
	B 単元 第3章 経済と流通の基礎 1. 経済の仕組みとビジネス 2. 経済活動と流通 【知識及び技能】 経済の仕組みと流通の必要性について学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 経済と流通に関する課題を発見し、その解決方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 経済の基本概念を踏まえ、流通と流通を支える組織の一員として主体的かつ協働的に取り組む。	・指導事項 商業の味方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じて、地域産業を始め経済社会の健全で持続的な発展の担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成するよう指導する。 ・教材 教科書 ビジネス基礎 (実教出版) 副教材 ビジネス基礎準拠問題集 (実教出版) ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 経済と流通について経済社会における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 経済と流通に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済と流通について自ら学び、経済の基本外苑を踏まえ、流通と流通を支える活動に組織の一員として主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
期末考査				○	○		1
	C 単元 第4章 さまざまなビジネス 1. ビジネスの種類 2. 小売業 3. 卸売業 4. 物流業 5. 金融業 6. 情報通信業 【知識及び技能】 さまざまなビジネスについて学ぶ。 【思考力、判断力、表現力等】 さまざまなビジネスに関する課題を発見し、その解決方法を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 さまざまな流通について自ら学び、流通と流通を支える活動を支える組織の一員として役割を果たすことができる力を身に付ける。	・指導事項 商業の味方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じて、地域産業を始め経済社会の健全で持続的な発展の担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成するよう指導する。 ・教材 教科書 ビジネス基礎 (実教出版) 副教材 ビジネス基礎準拠問題集 (実教出版) ・一人1 台端末の活用 等	【知識・技能】 さまざまなビジネスについて経済社会における事例と関連付けて理解している。 【思考・判断・表現】 さまざまなビジネスに関する課題を発見し、科学的根拠に基づいて課題への対応策を考えている。 【主体的に学習に取り組む態度】 さまざまな流通について自ら学び、流通と流通を支える活動に組織の一員としての役割を果たす力を身に付けるために、主体的かつ協働的に取り組んでいる。	○	○	○	8
	中間考査			○	○		1

2 学 期	<p>D 単元 第5章 企業活動の基礎</p> <p>1. ビジネスと企業 2. マーケティングの重要性 3. 資金調達 4. 財務諸表の役割 5. 企業活動と税 6. 雇用</p> <p>【知識及び技能】 企業の形態と組織、マーケティングの重要性と流れなど企業活動に関する知識を学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 企業活動に関する課題を発見し、その対応策を考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 企業活動について主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 商業の味方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業を始め経済社会の健全で持続的な発展の担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成するよう指導する。</p> <p>・教材 教科書 ビジネス基礎（実教出版） 副教材 ビジネス基礎準拠問題集（実教出版） ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 企業活動について経済社会における事例と関連付けて理解する。</p> <p>【思考・判断・表現】 企業活動に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 企業活動について自ら学び、企業活動に関する事例などを踏まえ、企業活動に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>E 単元 第6章 ビジネスと売買取引</p> <p>1. 売買取引の手順 2. 代金決済</p> <p>【知識及び技能】 売買取引、代金決済といった実務における取引について学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 取引に課する課題を発見し、その課題への対応策を考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 契約と履行について、組織の一員としての役割を果たすことが出来るように主体的にかつ協働的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 商業の味方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業を始め経済社会の健全で持続的な発展の担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成するよう指導する。</p> <p>・教材 教科書 ビジネス基礎（実教出版） 副教材 ビジネス基礎準拠問題集（実教出版） ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 売買取引、代金決済といった実務における取引について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 取引に関する課題を発見し、科学的な根拠に基づいて課題への対応策を考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 取引について自ら学び、適切な契約の締結と履行に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>期末考査</p>			○	○		1
3 学 期	<p>F 単元 第7章 ビジネス計算</p> <p>1. ビジネス計算の基礎 2. ビジネス計算の応用</p> <p>【知識及び技能】 ビジネス計算に関する技術を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ビジネス計算について、主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 商業の味方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業を始め経済社会の健全で持続的な発展の担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成するよう指導する。</p> <p>・教材 教科書 ビジネス基礎（実教出版） 副教材 ビジネス基礎準拠問題集（実教出版） ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ビジネス計算について実務に即して理解している。また、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネス計算について自ら学び、主体的にかつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>G 単元 第2章 ビジネスとコミュニケーション</p> <p>1. コミュニケーション 2. ビジネスマナー 3. 情報の入手と活用</p> <p>【知識及び技能】 ビジネスにおける信頼関係構築について理解し、関連する技術を学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスにおいて他者への対応及び情報を入手して活用し、評価・改善することについて考える。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 ビジネスに対する心構えについて自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組む。</p>	<p>・指導事項 商業の味方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じ、地域産業を始め経済社会の健全で持続的な発展の担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成するよう指導する。</p> <p>・教材 教科書 ビジネス基礎（実教出版） 副教材 ビジネス基礎準拠問題集（実教出版） ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 Biz自演集における信頼関係構築について実務に即して理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 ビジネスの場面を分析し、科学的な根拠に基づいて、ビジネスにおいて他者に対応するとともに、情報を入れて活用し、評価・改善することを考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ビジネスに対する心構えについて自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	8

<p>H 単元 第8章 身近な地域のビジネス 1. さまざまな地域の魅力と課題 2. 地域のビジネスの動向</p> <p>【知識及び技能】 身近な地域のビジネスについて学ぶ。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 身近な地域の抱える課題や振興策について考える。</p>	<p>・指導事項 商業の味方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、ビジネスを通じて、地域産業を始め経済社会の健全で持続的な発展の担う職業人として必要な基礎的な資質・能力を育成するよう指導する。</p> <p>・教材 教科書 ビジネス基礎（実教出版） 副教材 ビジネス基礎準問題集（実教出版） ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 身近な地域のビジネスについて理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 身近な地域のビジネスに関する課題を発見し、それを踏まえ、科学的な根拠に基づいて、ビジネスの振興策を考えている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自ら学び、ビジネスに主体的かつ協働的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	9
<p>学年末考査</p>			○	○		1
						合計 70

大田桜台 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 商業 科目 簿記

教科： 商業 科目： 簿記 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1組：山本有希恵）（2組：木下いづみ）（3組：市川はるみ）（4組：伊藤信喜）（5組：建部彰吾）

使用教科書：（7実教 709 新簿記）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 簿記 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
簿記について実務に即して体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。	取引の記録と財務諸表の作成方法の妥当性と課題を見だし、ビジネスに携わる者として科学的な根拠に基づいて創造的に課題に対応する力を養う。	企業会計に関する法規と基準を適正に適用する力の向上を目指して自ら学び、適正な取引の記録と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
1 学 期	<p>（1）簿記の原理 【知識及び技能】 簿記の原理について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 取引を記録することと決算の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだすこと。 【学びに向かう力、人間性等】 簿記の原理について自ら学び、適正な取引の記帳の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 （1）簿記の原理 ア．簿記の概要 第1章 簿記の基礎 第2章 資産・負債・純資産と貸借対照表 第3章 収益・費用と損益計算書 イ．簿記一巡の手続き 第4章 取引と勘定 第5章 仕訳と転記 第6章 仕訳帳と総勘定元帳 第7章 試算表 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 簿記の原理について理解するとともに、その知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 取引を記録することと決算の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだし、それを表現する仕方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 簿記の原理について自ら学び、適正な取引の記帳の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	27
	定期考査			○	○		1
	<p>（1）簿記の原理 【知識及び技能】 簿記の原理について理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 取引を記録することと決算の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだすこと。 【学びに向かう力、人間性等】 簿記の原理について自ら学び、適正な取引の記帳の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 第8章 精算表 第9章 決算 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 簿記の原理について理解するとともに、その知識・技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 取引を記録することと決算の意義について、企業活動の展開と関連付けて見いだし、それを表現する仕方を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 簿記の原理について自ら学び、適正な取引の記帳の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	9
<p>（2）取引の記帳 【知識及び技能】 取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。 【思考力、判断力、表現力等】 取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応すること。 【学びに向かう力、人間性等】 取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 （2）取引の記帳 第10章 現金・預金などの取引 第11章 商品売買の取引 第12章 掛け取引 第13章 手形の取引 ・教材 教科書、問題集、プリント ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	18	
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>(2) 取引の記帳</p> <p>【知識及び技能】 取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 第14章 その他の債権・債務の取引 第15章 固定資産の取引 第16章 個人企業の資本の取引 第17章 販売費と一般管理費、税金の取引</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する態度を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	13
	<p>(3) 決算</p> <p>【知識及び技能】 決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 決算の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 (3) 決算 第18章 決算整理(その1) 第19章 8桁精算表 第20章 帳簿決算</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 決算の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する態度を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	<p>(5) 記帳の効率化</p> <p>【知識及び技能】 記帳の効率化について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 記帳の効率化の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 記帳の効率化について自ら学び、伝票の利用に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 (5) 記帳の効率化 第21章 会計帳簿 第22章 伝票の利用</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 記帳の効率化について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 記帳の効率化の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する態度が身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 記帳の効率化について自ら学び、伝票の利用に主体的かつ協働的に取り組む態度が身につけている。</p>	○	○	○	9
	<p>(2) 取引の記帳</p> <p>【知識及び技能】 取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 (2) 取引の記帳 第24章 特殊な手形の取引 第25章 有価証券の取引 第27章 最近の実務に広がる取引</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 取引の記帳について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 取引の記帳法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する態度を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 取引の記帳について自ら学び、適正な会計帳簿の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	9
	<p>(4) 本支店会計</p> <p>【知識及び技能】 本支店会計について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 本支店会計に関する取引の記録と財務諸表の合併の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 本支店会計について自ら学び、適正な本店・支店間取引及び支店間の取引の記録及び財務諸表の合併に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 (4) 本支店会計 第26章 本支店会計</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 本支店会計について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 本支店会計に関する取引の記録と財務諸表の合併の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する態度が身につけている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 本支店会計について自ら学び、適正な本店・支店間取引及び支店間の取引の記録及び財務諸表の合併に主体的かつ協働的に取り組む態度が身につけている。</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>(3) 決算</p> <p>【知識及び技能】 決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 決算の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 (3) 決算整理 第28章 決算整理 (その2)</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 決算について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 決算の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する態度を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 決算について自ら学び、適正な決算整理と財務諸表の作成に主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	14
	<p>(5) 記帳の効率化</p> <p>【知識及び技能】 取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することについて理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 記帳の効率化の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 記帳の効率化について自ら学び、会計ソフトウェアの効率的な活用に主体的かつ協働的に取り組むこと。</p>	<p>・指導事項 (5) 記帳の効率化 第23章 会計ソフトウェアの活用</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 取引の記帳に会計ソフトウェアを活用することについて理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 記帳の効率化の方法の妥当性と実務における課題を見だし、科学的な根拠に基づいて課題に対応する態度が身についている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 記帳の効率化について自ら学び、会計ソフトウェアの効率的な活用に主体的かつ協働的に取り組む態度が身についている。</p>	○	○	○	13
	定期考査			○	○		1
							合計
							140

大田桜台 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 ビジネス 科目 キャリアデザイン

教科： ビジネス 科目： キャリアデザイン 単位数： 1 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 5 組

教科担当者： （1組：山本有希恵） （2組：木下いづみ） （3組：市川はるみ） （4組：馬場美直） （5組：工藤大観）

使用教科書： （ ）

教科 商業 の目標：

【知識及び技能】 商業の各分野について体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 ビジネスに関する課題を発見し、職業人に求められる倫理観を踏まえ合理的かつ創造的に解決する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 職業人として必要な豊かな人間性を育み、よりよい社会の構築を目指して自ら学び、ビジネスの創造と発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

科目 キャリアデザイン の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付けている。	・キャリアについて収集した情報を活用し、まとめることができる。 ・実力テスト等の数値データやグラフを読み取り、分析することができる。 ・プレゼンテーションを通し、調査内容や自分の考えを表現することができる。	自分自身のこれまでとこれからを考え、自ら社会人・職業人として自立し、時代の変化に対応できる自己形成力を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	(1) 高校生活（短期的） 【知識及び技能】 キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 資料を読み取り、分析し、自分の意見を表現することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身のこれまでとこれからを考え、自ら社会人・職業人として自立し、時代の変化に対応できる自己形成力を養う。	・指導事項 (1) 高校生活（短期的） ①ガイダンス ②自己理解 ③SDG s 講演会 ・教材 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 実力テスト等の数値データやグラフを読み取り、分析し、課題を見だし、対応する態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分のキャリアについて、自ら考え、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	5
	(2) 大学、進路（中期的） 【知識及び技能】 キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 実力テスト等の数値データやグラフを読み取り、分析することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身のこれまでとこれからを考え、自ら社会人・職業人として自立し、時代の変化に対応できる自己形成力を養う。	・指導事項 (2) 大学、進路（中期的） ④スタディサポート1の事後指導 ⑤進路（進学）講話1 ⑥進路講話1のまとめ ⑦キャリアプラン ⑧オープンキャンパス事前指導 ⑨オープンキャンパス調べ1 ⑩オープンキャンパス調べ2 ・教材 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 実力テスト等の数値データやグラフを読み取り、分析し、課題を見だし、対応する態度を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分のキャリアについて、自ら考え、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	9
2 学 期	(2) 大学、進路（中期的） 【知識及び技能】 キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 実力テスト等の数値データやグラフを読み取り、分析することができる。 自分が調べたこと、体験したことを工夫して発表しようとする態度を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身のこれまでとこれからを考え、自ら社会人・職業人として自立し、時代の変化に対応できる自己形成力を養う。	・指導事項 (2) 大学、進路（中期的） ⑪オープンキャンパス発表1 ⑫オープンキャンパス発表2 ⑬キャリアパスポート1 ⑭進路（進学講話）2 ⑮スタディサポートの事後指導 ⑯小論文模試 ・教材 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 実力テスト等の数値データやグラフを読み取り、分析し、課題を見だし、対応する態度を身に付けている。 自分の調べたこと、体験したことを工夫して発表する態度が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分のキャリアについて、自ら考え、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	7
	(3) 社会人、勤労観（長期的） 【知識及び技能】 キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 職業レディレステスト等の数値データやグラフを読み取り、分析し、課題を見だし、対応する態度を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 自分自身のこれまでとこれからを考え、自ら社会人・職業人として自立し、時代の変化に対応できる自己形成力を養う。	・指導事項 (3) 社会人、勤労観（長期的） ⑩キャリア講演 ⑪職業観・職業レディネステスト1 ⑫職業観・職業レディネステスト2 ⑬平安装束を着る会 ⑭働くって ・教材 プリント ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付けている。 【思考・判断・表現】 職業レディレステスト等の数値データやグラフを読み取り、分析し、課題を見だし、対応する態度を身に付けている。 自分の調べたこと、体験したことを工夫して発表する態度が身についている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分のキャリアについて、自ら考え、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。	○	○	○	7

3 学 期	<p>(1) 高校生活 (短期的)</p> <p>【知識及び技能】 キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 資料を読み取り、分析し、自分の意見を表現することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分自身のこれまでとこれからを考え、自ら社会人・職業人として自立し、時代の変化に対応できる自己形成力を養う。</p>	<p>・指導事項 (1) 高校生活 (短期的) ㉔高校1年間で振り返ろう ・教材 プリント 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 実力テスト等の数値データやグラフを読み取り、分析し、課題を見だし、対応する態度を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分のキャリアについて、自ら考え、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	2	
	<p>(2) 大学、進路 (中期的)</p> <p>【知識及び技能】 キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 実力テスト等の数値データやグラフを読み取り、分析することができる。</p> <p>自分が調べたこと、体験したことを工夫して発表しようとする態度を身に付ける。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分自身のこれまでとこれからを考え、自ら社会人・職業人として自立し、時代の変化に対応できる自己形成力を養う。</p>	<p>・指導事項 (2) 大学、進路 (中期的) ㉔小論文事後指導 (講演) ㉔小論文模試2 ㉔キャリアパスポート2 ㉔キャリアパスポート3 ・教材 プリント 一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 キャリアに関する知識を体系的・系統的に理解するとともに、必要な情報を収集する技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 実力テスト等の数値データやグラフを読み取り、分析し、課題を見だし、対応する態度を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分のキャリアについて、自ら考え、主体的かつ協働的に取り組む態度を身に付けている。</p>	○	○	○	5	
							合計	35